

02九ハ協発第13号
令和2年10月22日

関係各位

九州ハンドボール協会
会長 加納洋二郎

「第72回 日本ハンドボール選手権大会 第6回 九州ブロック予選」
における入場及び観戦の制限について（お知らせ）

仲秋の候 皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
日頃より、本協会の事業につきましては、格別のご理解を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、標記大会の開催を決定し、会場となるグローバルアリーナをはじめ、医療専門
機関などと感染予防対策を施した運営方法について協議を重ねて参りました。

申込段階から県境を超える移動について所属地から自粛を求められ、参加を見送った
チームがあったり、申込後にエントリー変更があったりしながら大会を迎えます。

そういう移動制限や移動自粛が一部に求められる中での大会運営は、しっかりした
盤石の感染防止対策が求められます。本協会は、九州各県から参加されます役員・選手
の皆様が、安心して安全な環境下でパフォーマンスを発揮する環境づくりが最大の責務
と考えます。

つきましては、感染拡大防止の観点だけでなく、大会に関わる全ての方々の健康と
安全を第一に考え、学校関係者・保護者・家族・一般ファンの皆様には、誠に申し訳
ございませんが、今大会については、下記の通り「**完全無観客**」での運営といたします。

九州各県でも感染が沈静化しない状況で、終息が見通せない日々が続いています。
皆様には、趣旨をご理解いただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 **体育館の入館は、競技役員・競技補助員・チーム役員・選手・エントリー外選手
（補欠の選手・部員）・報道関係者のみとする。**

ただし、エントリー外選手が皆無で、コート（モップ）員・VTR撮影員が不足
するチームについては、チーム責任者が指名する関係者の入館を認める。

※コート（モップ）員：2名、VTR撮影員：2名

- 2 チーム役員・選手・エントリー外選手（補欠選手）が体育館に入館するのは、
自チームの試合のみとし、他試合の観戦は禁止する。

以上